

学校法人國學院大學 DX 推進プラン

1. 学校法人國學院大學 DX 推進について

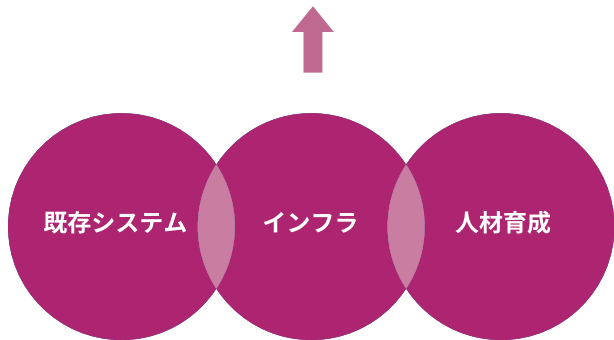
目標 「デジタル」を活用した、新たな価値の創造

- 中期5ヵ年計画の実現を支援することを目標とし、体系的なデジタル化の推進によって、法人全体を通じた ICT 関連の運用・管理等を担います。
- 創立 150 周年に向け、法人が掲げた“法人組織・仕組みの強化”に即して、「デジタル」を活用した法人内連携を進め、法人組織の改革と強化を図ります。
- “教育研究環境の充実”のために、DX を推進することによって「時間」を創出し、「アナログ」をさらに有効活用できる諸環境の整備と充実を図ります。

2. DX 推進領域

推進計画の遂行にあたっては、以下の基本領域をもとに各施策を進めていく。

[1] 教育・研究 □既存システムの活用とステークホルダーへの効果等検証 □新しい技術(学修ポートフォリオ・LMS 等)の活用 □学生、生徒への情報教育によるDX人材の育成	[2] 施設・学生生活 □“非接触”をコンセプトとした新しい学生生活の創造 □技術を活用した新たな学生・生徒対応と従来対応のメリットの活用
DX 推進領域	
[3] 業務 □既存パッケージの費用対効果検証と刷新、新システム開発・導入検討 □業務精査からの改善とデジタルを活用したスリム化、効率化、持続性、永続性の担保	[4] 情報公開・IR □情報発信の効果測定と改善。新たなブランド醸成に関わる技術・方法の検証と活用 □法人内データの整備とデータサイエンス・IR の活用



3. 推進計画

1. 情報化戦略室（仮称）設置準備	法人全体の情報化戦略を管轄する専門部署を令和5年度から設置する。
2. システム関連業務見直し・仕訳業務の拡大	法人全体を包括して管轄する体制を整え、各学部をはじめ、法人各設置校に対しても計画推進に関わるコンサルティング業務を行う。
3. 既存システムの移行・刷新新システム導入	既存システムのバージョンアップや移行を進めるとともに、新たに導入すべきシステムの検討や準備を進める。
4. 法人各設置校運用状況等精査 DX 推進計画策定	法人各設置校の独自性を確保しつつ、運用・予算を検証し、法人全体を俯瞰した DX 推進計画の策定を進める。

- 全体の5ヵ年計画のもと、各事業ごとにブレイクダウンし、1～3年の短期計画を策定。迅速な計画・実行を基本とし、継続的に施策を展開する。
- 本中期5ヵ年計画の期間を第1期とし、次期5ヵ年計画を第2期計画として、創立 150 周年に向けて計画策定・実行を推進する。
- 文部科学省 DX 関連事業による補助金獲得をタイムリーに検討する。
- 中期5ヵ年の KPI として
 - 現在の運用経費について、5ヵ年で 30%削減を目標とし、新システム導入等へ転換する。
 - 法人全体の人件費比率 55.3% を DX の推進により、5ヵ年で 45% への縮減を目標とする。

令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度
情報化戦略室(仮称)設置準備	情報化戦略室 設置	情報システム部門の法人連携と業務構築		
関連業務の見直しと仕訳情報システム業務の拡大				
	既存システムの移行準備		新システムの導入準備	
法人各設置校運用・予算等精査				
法人各設置校別 DX 推進計画策定	法人各設置校別 DX 推進計画策定			
			法人 DX 推進計画第 1 期の検証と第 2 期の行動策定	